

★シラバス(学習の手引き)★

令和 5 年度版

Abashiri Kelyo High School

教科	理科	学科	普通科	学年	1	年	必修修科目
科目	化学基礎			単位数	2	単位	
使用教科書	新編 化学基礎(数研出版)			副教材	新編 化学基礎準拠 サポートノート(数研出版)		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)									
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力		論理的思考力	◎	傾聴力		課題解決能力	○
	表現力	○	判断力	○	考察力	◎	情報活用能力	○	コミュニケーション能力	
	基礎的読解力		創造力		洞察力		継続力		行動力	
	自己管理能力		共感力		自己実現力		復元力(折れない心)		自己肯定感	
学習の到達目標	・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。									
	・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。									
	・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。									

★評価規準	A: 十分満足できる	B: 概ね満足できる(基準)	C: 努力を要する
★単元ごとの評価規準 (1)化学と人間生活			
★4月～6月下旬までの学習内容			
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
化学と人間生活について、化学と物質を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物質や元素について、観察実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	化学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト ・課題学習や実験時のレポート	・定期考査 ・小テスト ・課題学習や実験時のレポート	・授業でのワークシート ・実験時のレポート ・考査前後の振り返りシート	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点・評価方法)
4	オリエンテーション 第1編 物質の構成 第1章 物質の構成 1 混合物と純物質 2 物質とその成分	・化学基礎の学習内容・春休みの課題・元素記号の確認テスト ○物質の分類や混合物の分離方法について理解する:小テスト・実験課題 ○物質を構成する基本的な成分について理解する:小テスト・課題
5	3 物質の三態と熱運動 第2章 物質の構成粒子 1 原子とその構造 2 イオン	○物質の状態とその変化について理解する:小テスト・課題 ◎原子の内部構造について理解する:小テスト・課題 ◎イオンのでき方や表し方について理解する:小テスト・課題
6	★前期中間考査・振り返り 3 元素の周期表 第3章 粒子の結合 1 イオン結合とイオンからなる物質	・既習事項について、評価規準①、②について確認する:定期考査 ○元素の周期表について理解する:小テスト・課題 ◎イオン結合とイオン結晶について理解する:小テスト・課題

★単元ごとの評価規準 (2)物質の構成			★7月上旬～9月下旬までの学習内容					
①知識・技能			②思考・判断・表現			③主体的に学習に取り組む態度		
物質の構成粒子について、物質と化学結合を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。			物質の構成について、観察実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。			身近な物質や化学結合に主体的に関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		
★何で評価するか			★何で評価するか			★何で評価するか		
・定期考査 ・小テスト ・課題学習や実験時のレポート			・定期考査 ・小テスト ・課題学習や実験時のレポート			・授業でのワークシート ・実験時のレポート ・考査前後の振り返りシート		
7	2 分子と共有結合 3 共有結合の結晶		◎共有結合と分子について理解する:小テスト・課題 ○共有結合の結晶の構造や性質について理解する:小テスト・課題					

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

自己評価			実際評価		
観点			観点		
①	②	③	①	②	③

8	4 金属結合と金属	◎金属結合と金属結晶について理解する:小テスト・課題
9	★前期期末考査・振り返り 第1編 物質の構成と化学結合の復習	・既習事項について、評価規準①、②について確認する:定期考査 ・第1編の振り返り:物質の構成粒子や化学結合について、知識・技能的に理解する。また身近な物質や元素について、観察・実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現できるようになる

★単元ごとの評価規準 (3)物質の変化とその利用			★10月上旬～3月下旬までの学習内容			自己評価			実際評価		
①知識・技能		②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度			観点			観点		
物質と化学反応式、化学が拓く世界について、理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。		物質の変化とその利用について、観察実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。	物質の変化とその利用に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			①	②	③	①	②	③
★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習や実験時のレポート		★何で評価するか ・定期考査 ・小テスト ・課題学習や実験時のレポート	★何で評価するか ・授業でのワークシート ・実験時のレポート ・考査前後の振り返りシート								
10	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量 2 物質質量		◎原子の質量の表し方の工夫について理解する:小テスト・課題 ◎物質質量を用いた数の表し方について理解する:小テスト・課題								
11	2 物質質量 3 溶液の濃度 ★後期中間考査・振り返り		◎物質質量を用いた数の表し方について理解する:小テスト・課題 ◎溶液の濃度の表し方と溶液の調製方法について理解する:小テスト・課題 ・既習事項について、評価規準①、②について確認する:定期考査								
12	4 化学反応式と量的関係		◎化学反応式が表す量的関係について理解する:小テスト・課題								
1	4 化学反応式と量的関係 第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式の振り返り		◎化学反応式が表す量的関係について理解する:小テスト・課題 ・第1編の振り返り:物質の構成粒子や化学結合について、知識・技能的に理解する。また身近な物質や元素について、観察・実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現できるようになる								
2	第2章 酸と塩基の反応 1 酸・塩基 2 水の電離と水溶液のpH ★学年末考査・振り返り		◎酸・塩基の性質と分類のしかたについて理解する:小テスト・課題 ○pHと水溶液の性質の関係について理解する:小テスト・課題 既習事項について、評価規準①、②について確認する:定期考査								
3	3 中和反応と塩 4 中和滴定		◎中和反応のしくみと生じる物質について理解する:小テスト・課題 ◎中和反応の量的関係や中和滴定について理解する:実験・課題								

★最終評価総括(自己評価/実際評価)						自己評価総括			実際評価総括		
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度		①	②	③	①	②	③
◎前期振り返り					◎後期振り返り					▶備考	